

3601 態勢回復困難 天津上海困難

昭和二十三年
十二月六日



蚌埠八十四キロ
中共軍、揚州を
包围態勢



● 政府側都市
● 中共側都市



3602

文化はブン蚊の如く 昭和二十三年
昇天は焼願と墜落す 十月廿三日



3603

年末に馳走か

昭和二十三年十二月十六日



大臣へべ
れけ大酒
で退官。

「学徒
ごまかし
入校は
逐放。

「愚人。人を
殺しも。
盗んで極罪。

「稚兒
ガンゼあくて
叱られる。



3604

戰過・錢貨の爲

昭和二十三年十二月廿一日



學士院非該當

學術會議々員

七戰犯處刑

3605

東條等七戰犯處刑

初の學術會議議員二百十名

學士院非該當三十九名

昭和二十三年十二月二十三日



3606

残り戦犯十九名釋放

昭和二十三年十二月廿五日



安部源基 企畫院次長

天羽英二 外務次官

安藤紀郎 内相

青木一男 大東亜相(追放)

後藤文丈 國務省(追放)

石原広二郎 実業家

岩村通世 法相

岸 信介 商相

児玉譽士夫 海軍物資調達

葛丈能丈 黑龍会主幹

西尾寿造 陸軍大將

大川周明 著述業

笹川良一 国粹大衆党総裁

須摩弥吉郎 駐スペイン公使(追放)

高橋三吉 軍事参議官

谷 正之 情報局総裁(追放)

寺島健 通相

多田 駿(死亡)

本多熊太郎(死亡)駐華大使



昭和21年度1190億

22年度2142億

23年度4731億

3607

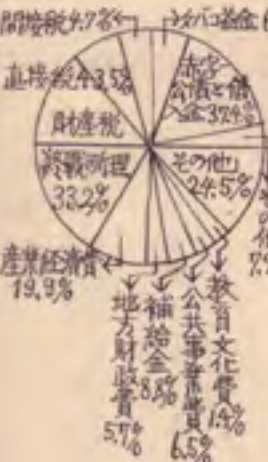
國家財政と内容の變化

昭和二十三年十二月二十八日



歳入

歳出



3608

横濱裁判九名絞首刑

昭和二十三年十二月三十日



横山 勇 中將司令官 絞首刑

福島久作 參謀少將

友森清晴 參謀副長左

伊藤章信 法務部長少將

佐藤古直 參謀大佐

冬至堅郎 經理部大尉

中山博二 報道部大尉

和光勇精 法務部大尉

檜崎正彦 參謀部小尉

終身刑

重労働四十年

同 三十年

同 廿五年

同 廿年

同 五年

無罪

三人

一人

四人

三人

四人

七人



3609

逝ける人

自昭和廿三年七月より
至昭和廿三年十二月終

昭和二十三年十二月卅一日

入江波光

八一

岡本一平

六三

西川虎吉

八一

副島道正

七八

望月信亨

八〇

矢崎千代二

岩波武信

六七

曾我園家五郎

松平慶民

六七

福原信三

六六

黒崎定三

六四

金平亮三

六七

小西重直

七四

佐々木角治郎

宮房次郎

六五

麻田駒之助

八〇

安達謙藏

八五

式守伊之助

五七

井上良治

五三

清水龜藏

七四

柴田經一郎

五五

三樹樹三

五四

馮玉祥

多田駿元

六七

種田虎雄

六五

辻嘉六

七二

松本孫右衛門

七六

東條英機

六五

岡村博

四四

松井石根

七一

岡田信

六二

土肥原賢二

六六

高橋隆超

五三

廣田弘毅

七一

清水釘吉

八二

板垣征四郎

六四

眞名子平太

五三

木村兵太郎

六一

大谷光瑞

七三

武藤章

五七

本田英作

六四

大村作次郎

七七

佐々弘雄

五二

本多熊太郎

七〇

勝田主計

八〇

藤塚鄰

七〇

3610

本年の學術

昭和二十三年十二月卅一日



講演

東京及び地方に於て、僅かに若干の講演講話等を語る。

都外
遊歴

奈良縣法隆寺、崎玉縣慈恩寺等の遊歴少々。

學術官公建築

法隆寺国宝保存事業部顧問(文部省)
 法隆寺国宝保存協議会委員(全)
 法隆寺壁面保存調査会委員(全)
 國寶保存会委員(全)
 重要美術品等調査委員(全)

日本學士院會員(全)

日本學術体制刷新委員會(全)

日本藝術院會員(全)

正倉院會議員(宮内府)

東京大學工學部建築講話(文部省)

淺草寺再建築顧問

慈恩寺石塔建築顧問

金力比羅宮建築校閱

建築
自由
工藝

3611

己丑(土の下牛)

昭和二十四年正月元日



驚くべき
奇獣が
土の下から
出て来た
ぞ。
国旗、門松、
しめ縄、餅、
蝦等は無
いのだから。





3612

中共の勢力分布

昭和二十四年一月三日



PALL MALL

FAMOUS CIGARETTES



"WHEREVER PARTICULAR
PEOPLE CONGREGATE"

FACTORY NO. 46, DISTRICT OF NORTH CAROLINA

NOTICE —
THE MANUFACTURER OF THE CIGARETTES HEREIN CONTAINED HAS
CONFORMED WITH ALL THE REQUIREMENTS OF LAW. EVERY PERSON
IS CAUTIONED NOT TO USE EITHER THIS PACKAGE FOR CIGARETTES
AGAIN OR THE STAMP THEREON AGAIN, NOR TO REMOVE THE
CONTENTS OF THIS PACKAGE WITHOUT DESTROYING SAID
STAMP, UNDER THE PENALTIES PROVIDED BY LAW IN SUCH CASES.

20
CIGARETTES

PALL MALL

FAMOUS CIGARETTES

AMERICAN CIGARETTE AND CIGAR COMPANY, INC.
SUBSIDIARY OF THE AMERICAN TOBACCO COMPANY

米国のタバコは頗る剛強
日本のタバコは甚だ柔弱



3613

米日煙草競争

昭和二十四年一月十二日



畸論家と労働者

昭和二十四年一月十六日



労働者
 は重くし
 て軽し

畸論家の
 労働者の
 十分の一
 に少さい
 のは面白

歪な収入
 の畸論家
 は軽くし
 て重し



中國政府廣東遷都に決定

中共軍南下開始

昭和二十四年一月三十日

南京は軟筋
廣東は疝頓



3616

蔣介石中國を失ふ

昭和二十四年二月二十三日



逃げて
郷土に走る
「消解跡は
勿論あり」



3617

法隆寺壁画の災難

昭和二十四年二月二十六日



3618

糞ツたれと尻ツたれ

昭和二十四年二月六日



放流寺混堂癖画

3619

建築か犬畜か
賢竹か嫌逐か
昭和二十四年二月十二日



3620

第三次吉田内閣成る

昭和二十四年二月十六日



官房長官	国務	国務	国務	国務	国務	国務	建設	労働	逓信	運輸	商工	農林	文部	大藏	厚生	外務	総理	
増田甲子七	樋貝詮三	本田市郎	山口喜久一郎	木村小左衛門	殖田俊吉	青木孝義	益谷秀次	鈴木正文	小沢重喜	大屋晋三	稲垣平太郎	森幸太郎	高瀬莊太郎	池田勇人	林讓治	吉田茂	吉田茂	
長野	山梨	長崎	佐賀	島根	神奈川	愛知	石川	山梨	岩手	群馬	岡山	滋賀	静岡	廣島	高知	高知	高知	出身地
53	59	55	53	61	60	53	62	51	52	56	62	61	58	51	61	72	72	年齢

3621

累卵の日本

昭和二十四年二月二十六日



我が日本の累卵の
無量劫は
どこ迄どこ
あるか



HAPPY

CIGARETT



憩



Peter Jackson/Virginia
London

3622

お雛祭り桃の節句
昭和二十四年三月三日



3623

阿部邸激變

伊東邸を猛變し
劇論を逆反す

昭和二十四年三月六日



3624

國土寒温。酷奴姦温

昭和二十四年三月十二日



「とても
寒いお



「紅白の
椿は美しいお

UNION LEADER



VICTORY
PACKAGE

ADAMS
CLOVE
CHEWING GUM

ADAMS
CLOVE
CHEWING GUM

SMOKING TOBACCO

3625

相模錦具賭博
注意ん牙無

昭和二十四年三月十八日



候賞院術藝 ←

→古今東西最大政治家

世界人の投票数

3626

頓貨漢と藝術賞
昭和二十四年三月二十二日



第一部

第二部

第三部

1	獨	ピスマルク	8500
2	英	チャーチル	773
3	獨	ストレーゼマン	580
4	獨	ヒトラー	513
5	露	スターリン	172
6	米	ルーズベルト	109
7	印	ガンジー	103
8	獨	フレデリック大王	55
9	露	レーニン	33
10	佛	フランコ	24
11	独	マルクス	11
12	米	トルーマン	7
13		キリスト	4
14	英	アトリー	1

吉田三郎 剛刻
雨宮治郎 彫刻
岸田出刀 建築
堀口捨己 建築

半田良平 歌集
土岐善麿 歌集
川路柳虹 詩集
中嶋敏一 歌曲

巖本真理 演奏
安川加壽 客アリスト
觀世華雪 能樂
井上八千代 舞踊

宮本金八 製作



3627

動物園に麒麟死す

昭和二十四年三月二十三年



児童欣喜
與暴食
麒麟暴食
喜兒童

評嘆



3628

所得税不書讀贅か。
昭和二十四年三月二十六日



八百億の
所得税
は困る





3629



SENIOR SERVICE

THE PERFECTION OF CIGARETTE LUXURY

SENIOR SERVICE

The Perfection of Cigarette Luxury



A PRODUCT OF THE MASTER MIND

煙草夢中無宙宴裝

昭和十四年三月二十日





3630

天地寒温歡恩は如何

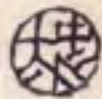
昭和二十四年四月六日



3631

學士院と學術會議と相合

昭和二十四年四月十二日



學士院
と學術
會議と。
漸やく
相合し
て結講
である。
數年を
經て學
士院は
愕死院。
學術院
樂實院。



3632

米太平洋の強震被害

昭和二十四年四月十八日



3633

中共軍南京入城

昭和二十四年四月二十四日



藝術 工匠 理論 經理

3634

建築とは何ぞや

昭和二十四年四月二十六日



2625

まがは便郵

東京駅・重洲日境・搬送億四
昭和二十四年四月三十日



3636

逝ける人

昭和二十四年



四月廿日

自二十四年正月一日
至二十四年四月廿日

宇野円空 五

古城貞吉 八四

塩野季彦 七〇

坪内せん子 八五

梅津美治郎 六八

高橋鎰太郎 九〇

山田正三 六六

沢村宗十郎 七五

木村政次郎 六五

三宅正太郎 六三

藏原惟嗣 六九

渡辺賢介 六〇

小金井芦州 六三

高橋是賢 七三

吉岡豊輔 七〇

片岡直方 六六

島中雄作 六三

武富英一

原鉄五郎 六六

稲田勝太郎 八八

牧野伸顯 六九

高野岩三郎 七九

松本幸四郎 八〇

唐沢光徳

長野草風 六五

笹川臨風 八〇

安宅弥吉 七七

賀来佐賀壽 七八

嘉悦孝子 八五

木村栄太郎 六一

川崎克 七〇

藤村密懂 七九

坂口二郎 七〇

津田秀宗 五七

安倍磯雄 八五

杉 琢磨 六八

小倉鉦太郎 八五

増田義一 八一

加藤武丈 六七

原口初太郎 七四

3637

一身三體。三態一新？

昭和二十四年五月六日





3638

高きに仰ぐか。低きに如何。
昭和二十四年五月十二日



3639

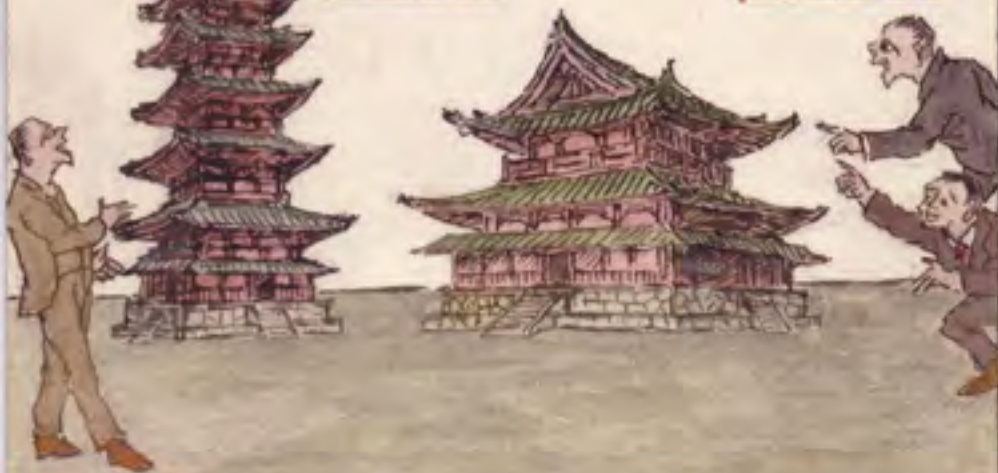
法隆寺の放流時か鳳龍字か。

昭和二十二年五月十八日



法隆寺の金堂
及び壁画は已
ちを得ずして
解体する事
に行ふのである。

五重塔は、おほ
研究して充分
に構架する
事にするので
ある。



3640

残留邦人の斬流法刃か

昭和二十四年五月二十二日

千島樺太から満洲を通過して「モスクワ」に連らぬる日本人の引き揚げを年内に完了すると申す。それが四十萬人の筈と言ふ。日本政府によれば、四十万八千七百二十九名の日本抑留者が残つたので現在までに死亡の数は全く知らぬと申さる。

残留邦人分布図

(主たる收容地区)



残る40万

	大連	千島・樺太	北	シベリア	合計
引渡済人数	223,093	223,093	0	0	0
引渡済累計	272,016	287,880	84,136	0	0
引渡済累計	322,546	322,546	0	0	0
引渡済累計	700,000	375,407	324,593	0	0
合計	1,617,655	1,208,926	408,720	0	0

国策院調査部作成
1949年4月分 ソ連
地区在外邦人引渡済
計数



千島から
もすくわ
かけて
四十萬
しぢうの
饅頭を
喰ふか
くわぬか

FOR FOUNTAIN PEN

THE
ATHENA
INK

MARUZEN COMPANY LIMITED
TOKYO

FACTORY NO. 171
1ST DIST. CAL.
20

FACTORY No. 171-1st Dist. of California.
Notice: This manufacturer of the Cigarettes herein contained
has complied with all the requirements of Law 4 very persons
cautioned not to use either this package for Cigarettes again
at the (Gansu) (Japan) again nor to remove the contents of the
package without destroying said (Gansu) under the penal-
ties provided by law in such cases.

MADE IN U.S.A.




Chesterfield
CIGARETTES

LIGGETT & MYERS TOBACCO CO.

Chesterfield
CIGARETTES

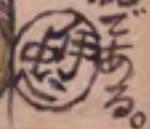
3641

政府知位末取か
昭和三十四年五月二十四日



3642

こんふ人獣鳥の動物は馬鹿である。
 それでも建築か？
 昭和二十四年五月二十五日



建築の研習

を何と思つて、出たらぬの
 無法を自慢するは駄目だ



世の善悪・美醜等が如何に
混乱たるべきか？

昭和二十四年五月三十一日



もち論で
ある。
善悪では
膳飽たか。
美醜では
鼻臭が
とまる。
混乱たるは
紺藍あら
は宜しかる
べし。



鳥鷺狂篇

同窓棋友八天狗
 舉端相術半地誰
 每月一回迴宅會
 時浴兩根又熱海
 新設規約錄勝敗
 保手助言嚴禁之
 三勝幾度變手合
 全勝更得一勝星
 自午到子不知倦
 興次第加入無我
 黃烟濃々人欲咽
 配膳既整時不應
 漸臨卓餐酒盡冷
 手箸猶且碗盤上
 竊運美食不覺味
 餐畢陶然氣更昂
 長考無策浪費時
 短思過謀屢悲鳴
 額勞既決不拋石
 徒弄手段伴萬一
 勝者得勢吐氣焰
 敗者惜費陳理窟
 噫爾鏖鏖幾十年
 齡入老境技不進
 顧前途真不洋々
 畢竟終生不脫底
 遺笑我有專門學
 餘技巧拙何足論
 洗去俗塵獨斯道
 素月一痕懸天心
 杉風吹送水聲音
 天狗飛散四隣聞



3645

馬と鹿の事

昭和廿四年六月十五日



「この馬が段々に人に
おる」と言ふと
「僕も段々に鹿が
人におる」と言ふ
馬鹿が驕の文字
にあるか？」



3646

日西。台風。被害。甚大。

昭和廿四年六月二十五日



「何だか
變だ。
ごち
そうは、
うまいか
まづいか。」



3647

世界萬民。日本蜜眠

昭和廿四年六月三十日



3648

下山国鉄総裁。無残なる
死の驚嘆

昭和二十四年七月七日



彼の國鉄総裁
が不思議に
酷跌糟菜で
は。何の事では
分りがねる。
下山総裁の死
は、何とも知らぬ
が奇異である。





散然祿百資十究念。

昭和二十四年七月十二日



大きな西瓜
で。まぐいので
すね！



いせ
十分の美味です



3650

明治神宮再建説

昭和廿四年七月十七日



「迷痴
身愚
とは何ぞ

「それは
命運
信遇
ならふ

「コラ
明治
神宮
の事
じゃ



3651

この熱暑に禮が冷かて如何

昭和廿四年七月三十日



非常の熱暑。
禮が冷かてや
たまり無
いです。



3652

三風呂か浮浪か水は上か下か

昭和廿四年八月八日



3653

先生と生徒の様か

昭和廿四年八月十五日



3654

九州豪雨死者百數

昭和廿四年八月十八日



級集合迂
使者百數



3656

東京大被害

昭和二十四年九月二日



大正十二年九月一日の大震災大火では
あいが、昭和十三年九月一日以来十一
年ありと言はれる。

昨災三十一日、八月風速台風東京最
大三十一メートル都の浸水三百万戸である。
地方の大樹烈風に由て、或は倒れ、或は
空中に飛ぶとて驚愕可し。



大被害は、この
南洋より北方
に走るの、大
嶋から新潟に北
行せるのがある
と思ふ。

3657

奇妙は稀○の物である

昭和二十四年九月六日



甲曰く

君は頗る
奇○で
あるね

乙曰く

君は甚だ
妙○ですぬ



3658

重慶大火(九月二日)

昭和二十四年九月六日



九月始め、日本、支那、印度等は必ずに
地理の變轉を生ず、その爲に、重大なる人、
地水火風空の五輪が五輪に走るのである。

地方	水	火	風	空
内	三角	半月	如意珠形	
北	西	南	東	中央
釈迦	弥陀	宝住	阿闍	大日



重慶の大火は九月二日あり、十八時間の長さ、十万余に近い被災家屋、七千余、焼死者、六百十五名であると申す、これは重慶から、重大、慶福あるものである、知らぬで思ふか？

3659

窮案無理日本地図

昭和廿四年九月十日



3660

逝去の人

昭和廿四年五月より
九月中旬に留む

(横の洋客順席。縦の漢字は互席)

昭和二十四年九月十四日



54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42
尾上菊五郎 (寺島幸三)	奥持五十嵐	下山定則	明石元長	堀越鉄藏	長岡 春	井坂 孝	川嶋浪速	後藤キヨ	白鳥敏史	佐藤紅緑	岡野養之助	有賀光豊
?	五〇	四九	四八	四七	四六	四五	四四	四三	四二	四一	四〇	三九
	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55
	黒正 巖	安住伊三郎	吉田 茂	今田新太郎	佐々木和三郎	中野忠八	杉田直樹	小日山直登	上村松園	伊沢多喜男	酒匂秀一	姉崎正治
	五五	八三	六六	四四	六〇	六六	四四	六四	五五	八一	六三	七七

3661

法隆寺崩流烽溜火。

昭和二十四年九月二十三日



鳳龍辭
放粒兒
訪留時



泡笠耳
寶劉璽
芳柳慈

3662

法隆寺の喧騒は馬鹿

昭和二十四年九月三十日



3663

陛下七學者(學士院會員)
文化勲章十氏内定

昭和二十四年十月十一日



長岡半太郎 物理学(文京区西片町一〇)

伊東忠太 工学(文京区西片町一〇)

岡田武松 地球物理学(千葉縣布佐町)

熊谷岱藏 医学(仙台市元鍛冶丁三)

駒井 卓 動物学(京都市北白川伊織町)

小島祐馬 支那哲学(高知縣五川郡)

柳田国男 民俗学(世田谷区成城町)

高橋誠一郎 藝術院長(學士院)(經濟学)

久保田万太郎 藝術院會員

上野直昭 藝術大學長(學士院)(美術学)

松方義三郎 共合通信事務理事

龜山直人 日本學術會議議長

仁科芳雄 科学研究所長(學士院)(物理学)

柿沼夷作 東大教授

辻善之助 日本學術會議會員(學士院)(史学)

田中耕太郎 參院議員(學士院)(商法)

有光次郎 元文部次官

3664

釋迦か？謝荷ではあるほい。

昭和二十四年十月十八日



3665

嗟。潜然碌々梧あり。

昭和二十四年十月二十五日



山麓々誤



3666

文化勲章七氏推薦

昭和二十四年十月三十日



岡田武松	三浦謹之助	津里左右吉	真島利行	鈴木大拙	志賀直哉	谷崎潤一郎
76	86	77	76	80	67	64
理博	医博	歴史学	有機化学	哲学	作家	作品
学士院	学士院	学士院	学士院	学士院	藝術院	藝術院
千葉	東北 大坂	岩手	京都	金沢	宮城	東京



3667

夢の努^メあら何^{ナニ}と難^{ナン}と

昭和二十四年十月四日



3668

湯川秀樹

(今「あめりかの
鈴木貨か」)

昭和二十四年十一月十二日



素粒子間の相互作用に
関する理論的研究並に宇
宙線中の新粒子メイト
ンの存在に對する豫言



帝國學士院恩賜賞金才五十九号
昭和五年五月十四日

學士院物理學、京都市
上京文上賀茂神殿町一八

3669

米講和互歡喜。

講和互に生世氣を如何

昭和二十一年十月十九日

伊東

日本の講和
は田が△が、
△が形の角が
ころがりゆせ
ず、田歩山脈
面知し



米国の講和は日本と違ふ
日本的の○●は才一
實は●●二重丸
次では菊形
才四はては水車形



3670

敦^{トシ}沈^{カン}関^{カン}か豚^{トシ}賃^{カン}貫^{カン}か

昭和二十四年十月二十五日



367

十月は汁溢^{しゅういつ}餓^がであいか

三十日は夢^{ゆめ}驟^{そう}日は如何^{いか}

昭和二十四年十一月三十日



3672

半身交換。即判新幸リあり

昭和二十四年十二月六日

伊東

半身を
交換セ
よや

交換を
半身セ
よや



3673

あのを殺すは重大

昭和二十四年十二月十日



3674

六千万円居眠り

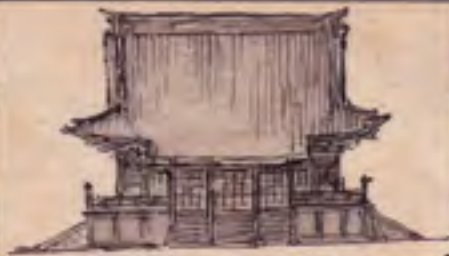
昭和二十四年十二月十五日



3675

浅草寺建築の騒ぎ

昭和三十四年十二月十七日



浅草寺
建築研究
七人の
經理、
工、藝
の總統
か〇〇〇
であるう



昭和廿四年十二月、而して廿四日から……



①「九里須摩」や「栗酢析」を御「ごちそう」で「ケッコー」でありました。

②然るに二十六日に栃木地方中心に大地に震動したのは、どこまで驚きました。

③栃木の同時、群馬の知名信濃の浅間の噴火が爆裂したと申ししまゝした

④その内は東京地方に数回地震おれは、別に充分の降雪が假あり、

⑤二十四年の苦難の御しまいかり。



3677

逝ける人四十六

(昭和二十四年九月十九日)
より十二月三十日に留る

席次は頭分列、足は順列
昭和十四年十二月三十日



73	57	58	73	74	?	63	88	51	?	66	56	75	68	57	62	76	67	80	74	69	47	76	64
紫田	西蔭	窪井	松平	石井	古川	鈴木	山口	小笠原	中島	中島	林家	高島	石原	矢田	矢脇	河上	矢田	齊藤	小寺	若松	川口	紀平	藤田
桂太	坦三	義過	恒雄	淳二	貞治	文助	アサ	幸吉	鉄藏	知久平	正藏	米峯	惠忍	直三	忠	清	直三	隆久	謙吉	虎雄	孝治	正義	一郎
90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80	79	78	77	76	75	74	73	82	76	70	69	68	67
81	68	75	65	53	64	82	74	73	60	69	59	58	45	83	68	49	?	50	82	74	75	48	84
青木	浅沼	関口	鹿子木	高橋	高山	青木	北	板谷	武田	森田	木枝	一色	合田	三井	中村	天内	水野	浜田	水野	内地	保田	森	若槻
信光	治	八重吉	木員信	定一	政吾	菊雄	連藏	順助	守成	草平	増一	定雪	得輔	清一郎	藤兵衛	榮藏	梅曉	恒一	鍊太郎	庵吉	次郎	伝	規礼次郎
二四	二三	二三	二二	二〇	一九	一八	一七	一五	一六	一四	一三	一三	一二	一〇	九九	九八	九七	九六	九五	九四	九三	九二	九一

3678

ふんとふる即ち梵鐘

昭和廿四年十二月三十一日



梵鐘也。よいが盆とは。

證がある。

煩焦也よいが。

凡証もある。

3679

昭和二十五年二月一日

寅の勢は如何か遺勘か



虎溪三笑

荷重 悟念 増湯 逸実

「年男
西暦に
するの
です
よ」



3680

算術 俣臬 悟念 兒重

昭和二十五年二月三日

ニシウゴネンイッゲツサザル
兒重 悟念 俣臬 算術



1898



昭和二十五年五月十二日



學士院提出



3682

奇怪喜快期會

昭和二十五年一月十七日



如何せば奇に
 して怪
 喜にして快を
 致すべきか
 氣に回し期に
 會し
 機を解すべき
 か



3683

喜歌關雎。定詠麟趾。

昭和廿五年二月二十九日



3684

悪人湯島孔子像盗を盗みしが、
美人を引つりしを盗みは如何
昭和二十五年二月十日



湯島の
聖堂の
厨子の中
高さ一尺
五寸重さ
八百匁の
孔子像、
美人を要
して盗み
し者は如
何あるは
悪し。



3685

明るい衣食は如何

明和二十五年二月二十二日



「君は衣も食も
住か？」



3686

授業料七十萬円盗まる

昭和二十五年三月冊



「七十萬盗
んで中……」

「おれは
八百萬円
盗んだよ」



3687

學士院賞八博士決る

昭和二十五年三月十四日



坂田昌一 理博 三七

愛知縣
葉栗郡

武田祐吉 文博 六三

東京都
世田谷区

石川謙 文博 五八

東京都
豊島区

坂口勤郎 農博 五二

東京都
目黒区

正野重方 医博 三八

神奈川県
高座郡

名倉重雄 医博 五五

名古屋市
東区

沼知福三郎 工博 五二

仙台市
大学教授

長谷川万吉 理博 五六

京都市
理学部長

理文

農医

工が

東京

三ツ

京都

一ツ

名古屋

一ツ

愛知

一ツ

仙台

一ツ

神奈川

一ツ

奇妙

3688

昭和廿五年より三月十三日迄に今時
逝きたる有名の五十四人（その順列は
足席次は分列）

忠大

28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	順列	逝きたる人	分列	
大隈栄一	哉山千作	長屋肇次郎	田辺治通	原惣兵衛	野口幽香	山田晴四郎	北二郎	香月清司	山上謙一	大西一郎	泉おし吏人	高木一三	秋山定輔	山本厚三	淺野千代子	波多野精一	小林貞也	松隈健彦	竹越與三郎	村田心雄	折竹六郎	荒井六郎	石神武藏	賀茂嚴雄	南薫造	齊藤順	細野長良	順列	逝きたる人	分列	
七九	八五	五六	七一	五九	八五	七三	三二	七〇	五二	六二	六九	六一	八一	六八	五六	七二	四二	五九	八二	五六	六七	六四	五四	八二	六七	六〇	六六	六六	順列	逝きたる人	分列
55	54	53	52	51	50	49	48	?	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	順列	逝きたる人	分列	
中野江漢	川村吾藏	岩田愛之助	分多ツヒ・マン	大野孝雄	東家樂榮	大塚万丈	佐多愛彦	荒井八郎	藤井貞雄	国府種徳	稲田龍吉	岩田豊雄	秦貞次	高瀬怡策	栗田三吾	野上豊一	服部直彰	林七六	高瀬武次郎	大山雙瑤磨	井上正夫	本多力不	芝田徹心	森本厚吉	木村寿美	瀬尾義男	三田定則	順列	逝きたる人	分列	
六一	五四	五三	七八	五七	六四	五三	七八	六五	五七	七九	七五	四四	六八	七七	七四	六七	五〇	七六	八三	七一	六八	七七	七〇	七二	七一	五〇	七四	七四	順列	逝きたる人	分列

3689

中尊寺。金色堂に焼された。

昭和廿五年、三月と二十三日



中尊寺

金色堂

に残され

藤原清衡

基衡秀衡

父子三代の

遺代の遺代

八百年の

神秘を解

く。

平泉雜記一平泉寺を以て見たが、豊臣秀吉七ヶ村の朱印から伊達政宗の領地とあり、金色堂中と藤原清衡に基衡秀衡の棺を納む遺骸今に存する

嘉祥三年は（仁明天皇一五〇）貞觀元年（長清和一五〇九）

天喜康平（後冷泉八一七五）源賴義崇教（平附セリ）。

長治二年（藤原清衡の本願に依り、嘉承二年堀河天皇、嘉承二年、堀河天皇（一七六七）、

天仁元年鳥羽天皇（一七六八）。文治五年泰衡滅亡の後、

源賴を安堵せしめ諸堂宇修理せしめ、建武四年に野火堂塔

禪會のみ焼失に僅に金色堂を遺す。

予は猶の中尊寺三度

を致したるが、この建築を見れば、木工、金工、漆

塗、金箔押、蘇給、平

塵、螺鈿あり更に外部の柱、斗拱、廊壁、軒、屋蓋

美しく、頗る妙である。

學術的謝恩會

昭和廿五年四月六日



① 銀杏會 (四月一日)

帝國大學建築大正十四年の二十四年の二十四人が集まって歡呼され、銀杏會とは「武藤清」と申して謝恩で實にうれしかりける。

② 岸田日出刀 (四月四日)

帝國大學建築の岸田君は、彼の美学的の藝術を、文部省の清秀偉大あるは頗る有り難し。

③ 鮎川義介 (四月七日)

鮎川氏は、帝太馬は明治三十六年に機械工学科を英敏にして、優美ある十分で、あは幾分也。

④ 四月一日、四月七日の間に大島の千代女と太郎等を、今早稲田大學に入れたり。



六人の顔が妙なり

昭和二十五年四月十二日



東京全焼千三十戸半焼四百七十
重軽傷百九十名

昭和廿五年四月十四日



●東京熱海の大火から諸町本部浜町、
銀座通清水町、系川町、花柳街を占め盡し、
市役所、警察署、消防署、郵便局（半焼）、
心臓部を全滅、温泉旅館、あど四十七軒を
焼き、同夜十二時に漸く食ひ止めしたが、
被災棟数は焼失千三十戸半焼四百十
十戸計千五百戸で被災者は四千百七十
名である。

●熱海市署の調べに、助手の「タバコ」の吸ひがら
かがサリンに引火して損害について、復興本部
は約三十億円、市署に約六十億円とみて
いる。十四日正午現在死者は多く、他に
收容されて負傷者は重傷十九名、軽傷
百七十一名であると言ふ。



3693

白牡丹

昭和廿五年四月二十五日



昔し明治三十五年四月二十五日の白牡丹
を喜びたり』そのこの庭の白牡丹は昔
しから、昔しからウツクしてヨロシクして居
てが、今日は牡丹が庭に全く無い事い
ふくあり。
これは悪人が夜に入り牡丹を一つも
何んでも、にげて行くのと思ふに。



牡丹支那より来る。

落葉灌木ナリ花月頃花白色あり。

今日既に牡丹の直径五六寸に達する。

3694

全国参院選挙

昭和廿五年五月四日



三百八十三人。
名の野党。彼
等の最大か。
彼の来琢道。
七十二か極翁。
三十二の
の極厲あり。
いや、この選
挙の見物と
見れば、三百
八十三人あれ
ばとて、如何であ
ると思はれる。



3695

學士出席「樂師失咳」

昭和廿五年五月八日



學士出席は實ハ
「樂師失咳」であ
實は日光東照宮
の觀間秀屬を到す
この東照宮の事い
頗る。。。であるが
而して華嚴瀑布
より男觥山あり
等。。。
士出席。。。。



學士院八賞
第四十回授賞式次第

昭和二十五年五月十一日午後二時



一院長挨拶

一授賞

恩賜賞

「二中間子理論」に対し

理学博士 坂田 昌一

日本学士院賞

「古往來についての研究」に対し

文学博士 石川 謙

同

「萬葉集校定の研究ならびにその萬葉学における業績」に対し
文学博士 武田 祐吉

同

「本邦産醱菌類に関する研究」に対し

農学博士 坂口 謹一郎

同

「大気擾乱の研究」に対し

理学博士 正野 重方

同

「所謂骨端炎の研究」に対し

医学博士 名倉 重雄

同

「地磁気日変化の解析的研究」に対し

理学博士 長谷川 万吉

同

「翼型のキャピテーション性能に関する研究」に対し

工学博士 沼知 福三郎

一内閣総理大臣祝辞

授賞の事で理は三点文
は二点、農医工は各々一点
である。ふは珍らしい事あらん

界世本日

本日界世

3697



日本世界非常
世界日本非常

昭和二十五年六月十二日



3698

豪雨「東日本」を再び襲う。
加ヶ崩れ、川あふれ等。
昭和廿五年六月十四日



3700

博物館で藝術院
金閣寺の焼失の傳
昭和廿五年七月三日



博物館で
藝術院
の事は別の
物あり

足利義満
の木像

金閣寺の
焼失の事い
次に別あり

